

ふいるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



春暁や夢のつばきをたくり寄せ

緑町 池田良子

老いて尚脳下し楽し春日かな

南校町 宮腰幸子

おほらかな春日の如し君の椅子

仲町 玉野研一

日脚伸ぶ胸のこだはりやや解けて

西岡町 渋谷みさ子

生かされてゐる幸せや春彼岸

西原町 児玉久美子

あたたかや夫の形見の鍬ひょう

旭町 宝澤房子

七曜の早きに惜しむ雛納め

西町 金澤頼子

髪を切り決意ひそかに卒業す

元町 印牧安子

大陸の黄砂撫で居る愛車かな

緑町 齋藤嘉子

瀬音きき日毎ふくらむ猫柳

仲町 坂部和子

柳の葉たれて流れのなすままに

元町 西崎弘子

下校児のハミダグ空へ春の風

屯田町 古屋克江

送る荷に入れるピンクの雛あられ

仲町 梅基文子

雪解や風の匂いに深呼吸

旭町 大河博子

目の前の春を待ちつつ子等を待つ

西町 岸波君江

平成をなぞりて惜しむ花の雨

西町 杉浦とし枝

待ちわびて光を跳ねし春の川

藤本町 鈴木ゆき子

喜びもあり三月は淋しきも

東町 高草木喜代子

旧友と食べて歌いし春の宵

西岡町 高瀬久美子

泥跳ねやせいでい運転お願いね

東町 高橋世津子

陽の影のやわらかなりし彼岸来る

西町 文梨清子

気安その同期とマンチ春つらら

仲町 芳賀星子